


福祉のまちづくり関連事業 令和 2 年度事業実績及び令和 3 年度事業計画

1 埼玉県福祉のまちづくり普及推進事業（福祉政策課）

（令和 3 年度当初予算額：2,971 千円）

（1）福祉のまちづくり普及啓発事業

ア 障害者用駐車場マナーアップキャンペーンの実施

事業内容	障害者用駐車場のマナーについて、11月1日から12月9日を強調月間として、広く県民に伝えることにより障害者に対する理解と障害者用駐車場の適正利用を促進する。
令和 2 年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・一都三県共同ポスターの一斉掲示（公共施設、文化施設、百貨店、ショッピングセンター、ホームセンター等、1,296 か所へ依頼（2,845 枚） ・広報（彩の国だより（R2 年 11 月号）等でキャンペーンを周知） ・各種イベント（埼玉県フェア、埼玉交通安全フェア 2020）での普及啓発グッズの配布等 <div style="text-align: center;">  </div>
令和 3 年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ・一都三県共同ポスターの一斉掲示（公共施設、文化施設、百貨店、ショッピングセンター、ホームセンター等へ依頼 ・広報（彩の国だより等でキャンペーンを周知） ・各種イベント（埼玉県フェア、埼玉交通安全フェア）での普及啓発グッズの配布等

イ 福祉団体との協働によるキャンペーンの実施

事業内容	NPOや障害者団体等と県が協働し、キャンペーンを行う。
令和2年度実績	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業を中止。
令和3年度計画	・イベント等にPRブースを出展 ・民間施設の障害者用駐車場を青色塗装

ウ 建築士に対する福祉のまちづくり条例のPR

事業内容	建築士の方々に、福祉のまちづくりの趣旨や整備基準の内容等を説明
令和2年度実績	・各建築安全センター及び福祉のまちづくり条例に係る特定行政庁(11市)に対し、啓発リーフレットを送付(R2.10) ・一般社団法人埼玉県建築士事務所協会の「法令セミナー」において説明資料の配布及び説明(R3.2)
令和3年度計画	・一般社団法人埼玉建築士会の「法令説明会」において説明資料の配布 ・一般社団法人埼玉県建築士事務所協会の「法令セミナー」において説明資料の配布及び説明

エ その他の広報手段による普及啓発

事業内容	様々な広報手段により普及啓発を実施
令和2年度実績	・彩の国だより等に障害者用駐車場の適正利用の記事を掲載 ・フェイスブックのサイトに障害者用駐車場マナーアップキャンペーンの取組等を随時掲載 ・ユニバーサルシート付トイレがある県・市町村有施設の情報ホームページ等に掲載
令和3年度計画	・彩の国だより等に障害者用駐車場の適正利用の記事を掲載 ・フェイスブックのサイトに障害者用駐車場マナーアップキャンペーンの取組等を随時掲載 ・ユニバーサルシート付トイレがある県・市町村有施設の情報を更新し、ホームページ等に掲載

(2) 福祉のまちづくり推進協議会

事業内容	福祉のまちづくりに関する学識経験者、福祉団体、民間事業者、公募による県民及び市町村行政関係者からなる委員により、生活関連施設の整備の促進、その他の福祉のまちづくりの推進に関する検討を行う。
令和2年度実績	第1回協議会 【開催日】令和3年2月4日(木)(書面開催) 【議 題】 ・令和元年度事業報告及び令和2年度事業計画
令和3年度計画	第1回協議会 【開催日】令和3年7月29日(木) 【議 題】 ・令和2年度事業報告及び令和3年度事業計画 ・埼玉県福祉のまちづくり設計ガイドブックの改定について ・パーキングパーミット制度に関するアンケート調査の結果について 第2回協議会 【開催日】未定 【議 題】未定

(3) 福祉のまちづくり条例に基づく届出状況

令和2年度

区分	届出件数	処理件数	適合件数	適合率(%)
建築物	769	702	123	17.5
公共交通機関の施設	3	3	3	100
公園	12	12	11	91.6
道路				なし
路外駐車場	10	10	10	100

建築物については特定行政庁届出分含む。

(参考) 建築物のうち、埼玉県所管分の届出における、

学校の適合率は42.9%、物販店・飲食店の適合率は10.9%

令和元年度

区分	届出件数	処理件数	適合件数	適合率(%)
建築物	839	716	132	18.4
公共交通機関の施設	5	5	5	100
公園	9	9	6	66.6
道路				なし
路外駐車場	8	8	8	100

建築物については特定行政庁届出分含む。

平成30年度

区分	届出件数	処理件数	適合件数	適合率(%)
建築物	927	881	155	17.6
公共交通機関の施設	7	7	7	100
公園	13	13	9	69.2
道路				なし
路外駐車場	14	14	14	100

建築物については特定行政庁届出分含む。

過去3年間 適合率推移

	30年度	令和元年度	令和2年度
建築物	17.6%	18.4%	17.5%
公共交通機関の施設	100%	100%	100%
公園	69.2%	66.6%	91.6%
道路	なし	なし	なし
路外駐車場	100%	100%	100%

2 関連事業

(1) 生活関連施設の整備関係

ア まちづくり全般

「バリアフリー基本構想等策定支援」(都市計画課)

事業内容	バリアフリー法に基づく移動等円滑化促進方針や移動等円滑化基本構想の策定の促進を図るため、策定者である市町村を支援する。
令和2年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・移動円滑化促進方針策定市町村 県内 2 市が策定済 (今後 2 市が策定予定) 《策定済み市町村》(策定年月) 戸田市(R3.3) 春日部市(R3.3) ・基本構想策定市町村 県内 10 市町が策定済 (今後 2 市が策定予定) 《策定済み市町村》(策定年月) 熊谷市(H14.3) 深谷市(H15.3) 東松山市(H15.3) 寄居町(H16.3) 所沢市(H16.3) さいたま市(H16.3) 白岡市(H17.2) 入間市(H17.3) 小川町(H20.3) 川口市(H21.7) ・「戸田市移動円滑化促進方針策定協議会」に委員として参加
令和3年度計画	市町村による基本構想策定等について、全国の先進事例に関する情報提供等、必要な助言を行うことに努める。

イ 建築物

「人にやさしい建物づくり」(建築安全課)

事業内容	バリアフリー法、埼玉県建築物バリアフリー条例、埼玉県福祉のまちづくり条例の運用により、人にやさしい建物の整備促進を図る。
令和2年度実績	福祉のまちづくり条例に基づく届出受理数 769件(令和3年3月31日時点)
令和3年度計画	バリアフリー法、埼玉県建築物バリアフリー条例、埼玉県福祉のまちづくり条例の運用により、人にやさしい建物の整備促進を図る。

「重度障害者居宅改善整備費補助」(障害者福祉推進課)

事業内容	<p>重度身体障害者の障害に応じた居宅の改善費用を助成する市町村(さいたま市を除く。)に対し補助する。</p> <p>《対象者》 下肢又は体幹機能に障害がある身体障害者手帳1級又は2級の方</p> <p>《所得制限》 世帯の最多収入者の前年所得税額 100,500 円以下</p> <p>《補助対象》 障害に応じた居宅の屋内外の改善に係る経費 なお、居宅の新築、増改築、日常生活用具給付等事業又は介護保険で給付対象となる住宅改修は補助対象外</p> <p>《基準額等》 基準額は36万円 県1/3、市町村1/3、本人1/3を負担。 生活保護の世帯は、県1/2、市町村1/2</p>
令和2年度実績	補助件数 25件
令和3年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重度身体障害者の障害に応じた居宅の改善費用を助成する市町村(さいたま市を除く)に対し補助を行う。 ・ 補助件数(見込)25件
令和3年度当初予算額	3,018千円

ウ 公共交通機関の施設

「みんなに親しまれる駅づくり事業」（交通政策課）

事業内容	<p>鉄道駅へのエレベーター・スロープ設置による段差解消や障害者対応型トイレの設置など、バリアフリー化に取り組む市町村に対し、経費の一部を補助する。</p> <p>《補助率》 市町村負担額の1 / 2 前年度の普通交付税不交付団体は1 / 3 補助限度額は1施設あたり2,000万円</p>
令和2年度実績	<p>3市町3駅5施設に補助</p> <p>JR：東鷲宮 東武：一本松、小川町</p> <p>* 段差が解消された鉄道駅（1日平均利用者が3千人以上）の割合は98.9%（令和2年度末）</p>
令和3年度計画	<p>2市町2駅2施設に補助予定</p> <p>* 段差が解消された鉄道駅（1日平均利用者が3千人以上）の割合は98.9%（令和3年度末）となる見込み</p>
令和3年度当初予算額	17,500千円

障害者対応型エレベーター



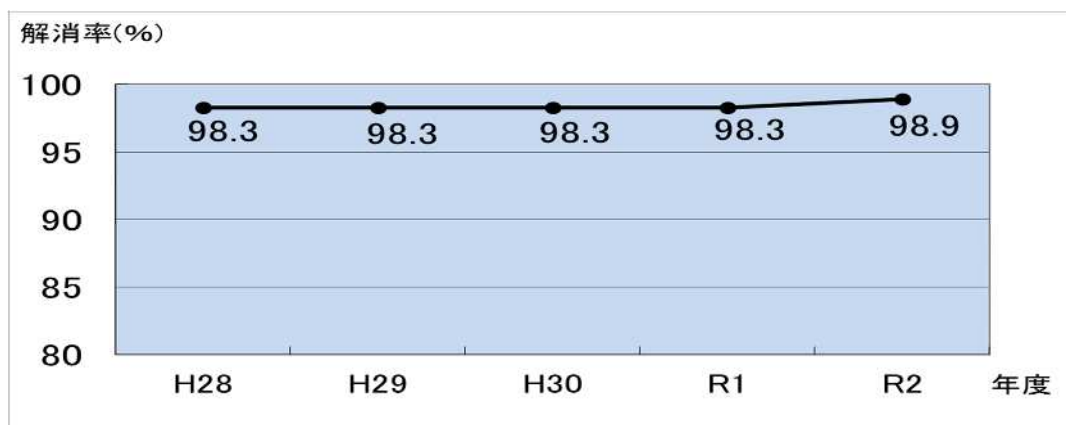
スロープ



障害者対応型トイレ



【参考】段差解消率の推移



「駅ホームの転落防止対策推進事業」（交通政策課）

事業内容	鉄道駅のホームドア及び内方線付き点状ブロックの整備経費の一部を補助する。 《補助率》 ・ホームドア 国 1 / 3、県 1 / 6、市町村 1 / 6 補助限度額は 1 列あたり 3, 0 0 0 万円 ・内方線付き点状ブロック 国 1 / 3、県 1 / 6、市町村 1 / 6 前年度の普通交付税不交付団体は 国 1 / 3、県 1 / 9、市町村 2 / 9
令和 2 年度実績	・ホームドア 6 市 1 5 駅に補助 東武：谷塚、草加、獨協大学前、新田、蒲生、新越谷、越谷、志木 西武：所沢 S R：東川口、戸塚安行、新井宿、鳩ヶ谷、南鳩ヶ谷、川口元郷 ・内方線付き点状ブロック 2 市町 2 駅に補助 J R：金子、寄居
令和 3 年度計画	・ホームドア 3 市 1 2 駅に補助予定 ・内方線付き点状ブロック 1 市 1 駅に補助予定
令和 3 年度当初予算額	1 6 3 , 7 4 2 千円

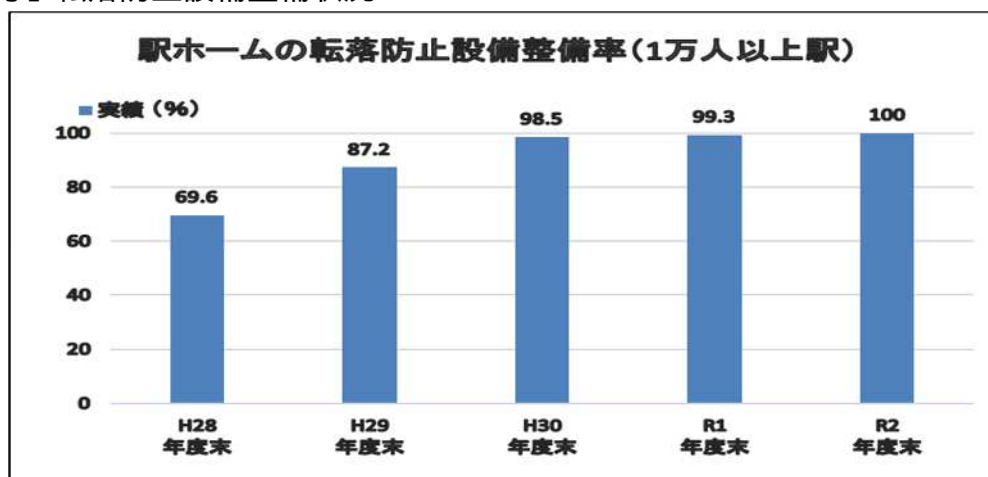
ホームドア



内方線付き点状ブロック



【参考】転落防止設備整備状況



「ノンステップバス導入促進事業」（交通政策課）

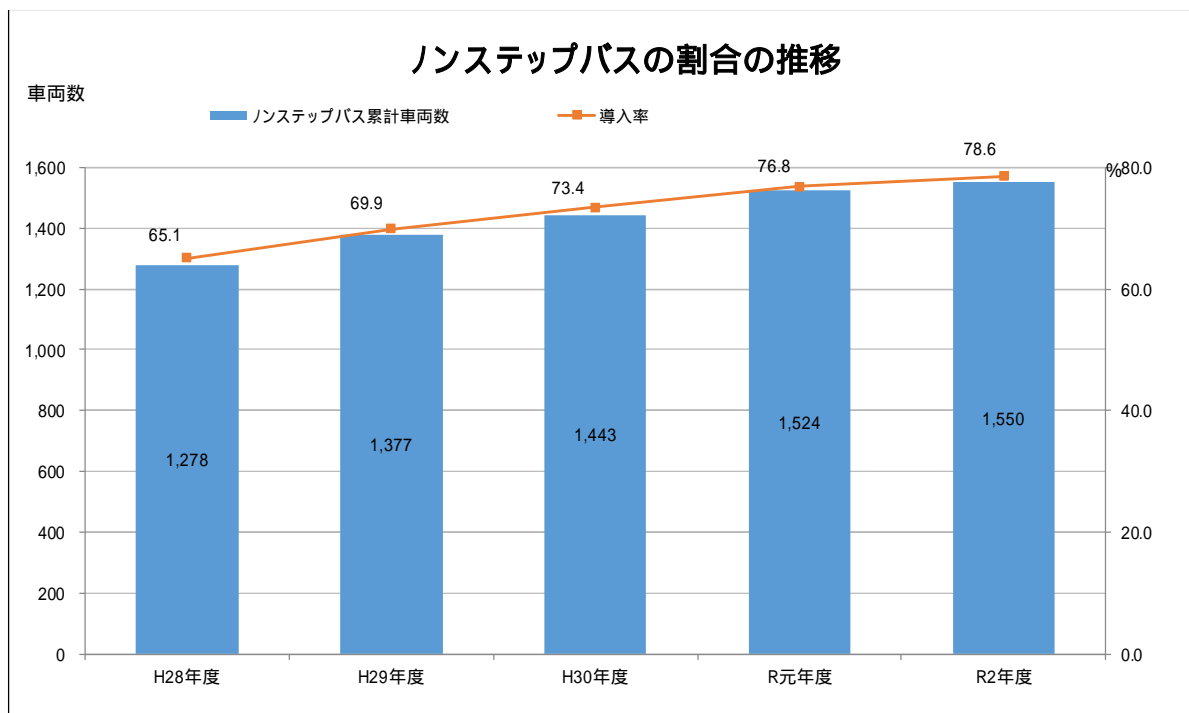
事業内容	ノンステップバスの導入経費の一部を負担する市町村に対して補助する。 《補助率》 市町村負担額の1 / 2
令和2年度実績	3市町（3事業者）計4両に補助。
令和3年度計画	11市町（5事業者）に対し計29両の補助を予定。
令和3年度当初予算額	14,500千円

< ノンステップバス >

床面を超低床構造にした乗降しやすいバス



【参考】ノンステップバスの割合の推移



「タクシーバリアフリー化促進事業」（交通政策課）

事業内容	ユニバーサルデザインタクシーや福祉タクシーを導入するタクシー事業者に対して導入経費の一部を補助する。 《補助率》 ・UDタクシー 60万円/台(上限) ・福祉タクシー 80万円/台(上限)
令和2年度実績	UDタクシー104台、福祉タクシー6台に補助。 UDタクシーの補助実績は全てトヨタ車(ジャパンタクシー)。 (補助対象の車種は特定していない)
令和3年度計画	UDタクシー70台、福祉タクシー8台の補助を予定。
令和3年度当初予算額	48,400千円

<ユニバーサルデザインタクシー>



<福祉タクシー>



エ 公園

「高齢者、障害者等に配慮した公園づくり」（公園スタジアム課）

事業内容	高齢者、障害者、妊産婦や子供などに配慮した公園施設の整備・改修を行う。
令和2年度実績	戸田公園ほか5公園にて実施
令和3年度計画	和光樹林公園において整備・改修事業を実施予定。
令和3年度当初予算額	5,000千円

【参考】令和2年度 改修内容

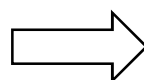
- ・トイレの洋式化改修の実施

<戸田公園>

改修前



改修後

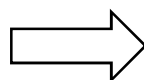


<埼玉スタジアム>

改修前



改修後



「県営公園における福祉政策のPR」（公園スタジアム課）

事業内容	県の福祉政策をPRするポスター掲示を県営公園で実施している。
令和2年度実績	県営27公園で継続して実施。
令和3年度計画	新たに開園する「（仮称）新たな森公園」を含む、県営28公園で実施予定。
令和3年度当初予算額	0千円

オ 道路

「バリアフリー安全対策事業」(道路環境課)

事業内容	高齢者、障害者の利用機会が多い駅・病院や公共施設周辺を中心に、バリアフリーに配慮した歩道の整備を行う。
令和2年度実績	県管理道路10か所において事業を実施した。
令和3年度計画	県管理道路12か所において事業を実施予定。
令和3年度当初予算額	429,068千円

整備前



整備後



【参考】<特定道路の整備状況について>

特定道路：バリアフリー法において「生活関連経路を構成する道路法による道路のうち、多数の高齢者、障害者等の移動が通常徒歩で行われる道路」として国土交通大臣が指定した道路。

平成20年に指定された特定道路

県管理道路で3.5km(8区間7路線)を整備。(整備率100%)

令和元年7月に指定された特定道路

平成20年に指定された特定道路の全国整備率が9割に達したことから追加指定された。県管理道路では23.4km(55区間45路線)が指定され、今後、計画的に整備を行う。

(2) 普及啓発関係

ア 「ユニバーサルデザイン推進事業」(文化振興課)

事業内容	ユニバーサルデザインの総合的な普及啓発を行う。 1 ユニバーサルデザイン当事者参加の推進 施設を新規で計画又は改修を予定する場合、当事者(例えば施設の利用者や管理者等)など様々な方に、事前にワークショップ等を開催して意見をいただき設計に反映させる「当事者参加」を推進するため、研修会を開催する。 2 ユニバーサルデザイン推進アドバイザーの派遣 学校、企業、公共団体等においてユニバーサルデザインの講演を行う場合に講師を派遣する。
令和2年度実績	1 ユニバーサルデザイン当事者参加の推進 研修会 【開催日】令和3年2月1日(月) 【場所】埼玉会館(さいたま市) 新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言が発令されたことから書面開催。 2 ユニバーサルデザイン推進アドバイザーの派遣 派遣回数7回、聴講者数延べ375人 ユニバーサルデザイン推進アドバイザー まちづくり、建築、障害を持った方の視点など、ユニバーサルデザインに関し専門的な知識を持った専門家。(一級建築士、学識経験者、障害当事者(車いす利用者、弱視など)から構成。)
令和3年度計画	1 ユニバーサルデザイン当事者参加の推進 研修会 【開催日】未定 【場所】 埼玉会館(さいたま市) 2 ユニバーサルデザイン推進アドバイザーの派遣 学校、企業、公共団体等においてユニバーサルデザインの講演を行う場合に講師を派遣する。
令和3年度当初予算額	900千円

イ 街で見かける障害者に関するマークの普及啓発（障害者福祉推進課）

事業内容	障害者のシンボルマークの普及啓発を行い、県民の障害者への理解を深める。
令和元年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター掲示（鉄道駅構内、鉄道車両内、路線バス車内、公共施設・商業施設 等） ・県主催イベントにおけるチラシの配布 ・普及啓発クリアファイルの作成と配布 ・ヘルプマークの普及啓発 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年7月23日から県内市町村を窓口として配付開始 ・令和元年度（H31.4月～R2.3月）の配付数：17,917個 </div>
令和2年度計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター掲示（鉄道駅構内、鉄道車両内、路線バスの車内、公共施設・商業施設 等） ・各種イベントにおけるチラシの配布 ・ヘルプマークの普及啓発
令和2年度当初予算額	3,775千円